

会 議 金 録

様式第 3 号

会 議 名 (審 議 会 等 名)		川西市損害評価会	
事務局 (担当課)		市民生活部産業振興室産業・労政課 (内線 2 5 6 1)	
開 催 日 時		平成 1 6 年 8 月 4 日 (水) 午後 1 時 3 0 分 ~ 午後 2 時 3 0 分	
開 催 場 所		川西市役所 7 階 大会議室	
出 席 者	委 員	西田 久雄・正本 啓一・瀧本 泰博・松井 和繁・ 今仲 明彦・畑原 博・西野 修 (西口 正一・畑中 隆 欠席)	
	そ の 他		
	事 務 局	鎌足 博・村山 弘・吉田 寿彦・田辺 康・中邨 勝利	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第		<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 平成 1 6 年産水稻引受状況について 2 . 平成 1 6 年産水稻損害評価方法及び日程について 3 . 市町損害評価会委員等研修会について 4 . 平成 1 6 年度水稻損害防止事業補助金について 5 . その他 	
事務局 (担当課)		市民生活部産業振興室産業・労政課 (内線 2 5 6 1)	

進行 吉田課長 第1回川西市損害評価会を開催します。今仲会長あいさつをお願いします。

1. あいさつ 今仲会長あいさつ
今年は、全国的には、天候がよく、日照時間が長く、生育が順調であり、例年と比較すると、一週間ほど出穂が早い。
また、キヌヒカリ等の品種作付けが多く、被害調査を早めに設定する必要がある。
新潟・福井の集中豪雨があり、水稻等の被害が甚大である。

吉田課長 初めての会議なので自己紹介をお願いします。
各自自己紹介を行う。
これからの進行は、今仲会長をお願いします。

2. 協議事項

(1) 平成16年産水稻引受状況について

事務局から説明する。

引受戸数	331戸
引受筆数	1,176筆
引受面積	7,848.7a
引受数量	263,484kg
農家負担共済掛金	434,098円
賦課金	149,841円
農家掛金合計	583,939円

戸数が4戸減っているのに引受面積が95.4a増加したのは、生産調整の制度が変更になり、米生産数量目標面積になったためである。

(2) 平成16年産水稻損害評価方法及び日程について

事務局から説明する。

今年も7地区(川西A・多田A・多田B・多田C・東谷A・東谷B・東谷C)を評価地区とする。

水稻損害評価については、例年よりも出穂が早いため、また、早生のキヌヒカリの作付けが多いため、評価日を設定した。

原則として、全地区で2回設定している。

8月30日(月)と9月21日(火)

8月31日(火)と9月22日(水)

評価会委員は、評価眼を統一するため、初日は、全員で行い、被害2日目は、2班に分ける。

被害がない場合は、変更もありうる。

また、被害報告後に、新たに発生した場合は、会長に連絡し、3人体制で評価日を随時設定する。

今後の日程については、10月中頃に損害評価会を開催し、10月末頃に諮問・答申の損害評価会を開催する予定である。

被害があれば、生産組合長（損害評価員）から市に連絡があり、直ちに損害評価会委員に連絡します。

また、被害がない場合は、設定日には、評価しませんので、その旨連絡します。

松井委員から、既に、柳谷地区においてイノシシの被害が発生しているとの話があった。

この場合、8月30日（月）よりも早く評価することも事態があれば、会長と相談して実施する。

今仲会長 事務局の説明どおり評価を実施してよろしいか。
出席委員全員了解される。

（３）市町損害評価会委員等研修会について

事務局から説明する。

9月2日（木）午前10時30分～午後3時

三田市民会館

現地研修あり。

損害評価会委員全員出席。事務局も参加する。公用車の配車

本日欠席者の西口氏と畑中氏に出欠確認をする。

集合場所・時間等について後日連絡する。

（４）平成16年度水稻損害防止事業補助金について

事務局から説明する。

水稻の病害虫を防除するため、農協の防除班長を通じて、苗種施用剤「ブイゲットアドマイヤー」粒剤を使用し、防除するよう生産組合長に指導をお願いしている。

補助金額（予算額）が478,000円であり、引受面積で按分しており、補助率は、16.9%である。

なお、この財源は、580万円ある農業共済事業基金の取り崩しと県共済組合助成金を充てる。

また、市からの補助金であるため、生産組合長から防除班長へ受取書を提出してもらっている。

今仲会長 以上をもちまして、本日の損害評価会を終了させていただきます。

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。